



名」にとりくみ、253,庫の教育をよくする県民署議・連合兵庫とともに「兵 3 4 8 筆 声である署名を提出し、県11日に県民のみなさんの ) の署名が集約された。 48筆 (昨年12月11日時

・ 課題についての対応や、少高校通学区域の改編に伴う事に対し要望書。 中学・高校卒業後の雇用確サポーターの維持・拡充、利条例の策定、多文化共生た施策の充実、子どもの権 人数学級の実現、 条例の策定、多文化共生施策の充実、子どもの権、、待機児童の解消にむけいしかしの拡

## 253,348 華集約!





しながら、学校の 集団的な職場教研 研として

に還流する点にある。学校で学んだことを支部や職場で学んだことを支部や職場研や県教研や県教研の特色は、組 はかりながら、「法案」のとりくみをすすめていく必とりくみをすすめていく必要がある。 一方で11月には、「公務 一方で11月には、「公務 所と課題の解決へむけた は、「教員給与の優遇分縮 は、「教員給与の優遇分縮 は、「教員給与の優遇分縮 は、「教員給与の優遇分縮 は、「教員給与の優遇分縮

の多忙化の中で、組織に還流する点にある。

uがる・みちひらく」 をしながら、「いきる・ 兵教組本部は年度末に みなさんと力合わ 「いきる・

ラッセホールで開催され、各支部、 の展開や2013対県確定闘争の妥結承認など 動方針にもとづき、3月頃までの当面する運動 昨年6月に第137回定期大会で決定された運 12 月 10 日、 人の中央委員が参加した。中央委員会では、ツセホールで開催され、各支部、専門部より 兵教組第257回中央委員会が

C

ょ



つ 要旨

あ

(1 さ

泉雄--郎 執行委員長

で審議された「国家公務員法等の一部改正案」では、法等の一部改正案」では、一切講じていない。民主党一切講じていない。民主党付票合との協議をふまえては連合との協議をふまえてお客を出し、その結果、政対案を出し、その結果、政対案を出し、その結果、政対案を出し、その結果、政対案を出し、その結果、政対案を出し、その結果、政対案を出し、その結果、政対策を対し、 公務労協に結集し、 労働者をめぐる中央の動 へる中央の動向 私たち公務員

連合・民主党と連携を 引き続 かっていないのではないか。際的な常識が安倍政権にはわ 世で考えても、国 題と合わせて考えても、国 世行するものだ。 ILO勧 道行するものだ。 ILO勧 国際的な教育改革の流れに 逆行するものだ。ILO勧 要領を通知したが、これも 結果公表を可能とする実施 お果公表を可能とする実施 で成立してしまった。そしに逆行する法案が臨時国会う、国際人権A規約の趣旨 に所得制限を導入すると いてである。 点い懸念を表

議に供する素材として

ティバルについてである。

め、すべての支部の協力の開催地の神戸支部をはじ

深刻な社会経済状態を背 きく影響している。 「第2次行革プラン」がす目の総点検がおこなわれる兵庫県では、今年度3年 県教育予算は減額傾向

成や社会の基盤づくりの観を守り、健やかな成長をすることはわたしたち大人することはわたしたち大人で会を担っていく人材の育社会を担っていく人材の育とない。 支え、ゆた、

とりの存在を大切にできる子育て支援、子ども一人ひるための社会的・財政的な は、子どもの最善の利益のこなわれたこの県民署名で 件整備をもとめている。 安心して子育てでき 域 体でお

は減額傾向にある。すめられており、数

教育予算

ある。

きわめて重

発行所 神戸市中央区中山 手通4丁目10-8 兵庫県教職員組合 発行人 兵庫県教職員組合

代<sub>表者</sub> 泉 雄一郎 編集人 池 田 啓 子 電話 050 (3538) 2346 1部7円 年定価280円 (組合員の購読料は) 組合費の中に含む)

2014/1.15

No. **1851** 

子どもの育ちを考えるシンポジウム第63次県教研



「わたしにぴったりな たこ」 淡路市尾崎小学校 三年

#### 教職員共済生協の

### なら、月々5,000円から始められます!

(年金共済・適格年金共済)



教職員共済

教職員共済生協の年金共済B型なら、無理のない金額から始められます! 積立中に資金が必要になったら一部取り崩すこともできるから安心です。



ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧いただき、制度内容をご確認ください。

承11-企-46(1110)

ご退職時に受取年金を決定

・年金原資(積立金)が受け取りたい年金

み増しすることができます。

払いします。

に足りない場合は、一時払いで原資を積

・年金原資(積立金)が受け取りたい年金

より多い場合は、超過分を一時金でお支

教職員共済

#### 資料のご請求等は

#### 教職員共済生活協同組合 兵庫県事業所

〒650-0004 住所 神戸市中央区中山手通4-10-8 4F

検索 http://www.kyousyokuin.or.jp/ 電話(078)221-9730 FAX(078)221-1199

兵隊とガードマンで自分の

に暮らすことはできない。

になっていなければ、

幸せ

しても、その時の大人社会

安全で安心できる社会

と希望に満ちている。だか人になることが、あこがれである。子どもにとって大

が子どもを育てる力のこと る社会、そういう大人社会

子どもの育ちを考えるシンホシウム

問題解決のケース会議の活用

大人社会の教育力を学校から高めよう

屋敷を守る必要

な社会を望んでは

ながあるよう

大人社会が、子どもに対し と思う。そのように見える 大人社会の一員になりたい ら、自分も大人になりたい、

て自然に発揮している教育

は、現代でまってもカら尊敬

い。自分の子どもから尊敬そういう親はなかなか少な

私はこれまで多くの教

収入を得る大人になったとる。どれほど高い学歴と高者を育てるという意味があて、将来の大人社会の形成

**子どもの可能性を最大限** 

人ひとり

どもたちが大人を尊敬できは何だろうか。それは、子

下しているのではないかと会の教育力」がずいぶん低きた。そして今、「大人社の」ががいるのではないかと

・のスー

パー

ビジョン

感じている。

大人社会の教育力」

すという意味に加

え

る社会。自分も尊敬される

で頑張りたいと自然に思えような大人になって、社会

(要旨)/

第63次県教研(ひょうご教育フェスティバル) 記念事業

#### 子どもの育ちを考えるシンポジウム

## 大人社会の教育力を学校から高めよう

問題解決のケース会議の活用を

このことはとても分かりに

とになる。

郊野 修さん

昨年11月9日、兵教組と(公財)こども教育支援財 団は、ひょうご教育フェスティバルの記念事業として 「子どもの育ちを考えるシンポジウム」を六甲アイラ ンド小で開催した。

人の教育力が弱くなっている原因を考え、教育力を 高め大人が互いに連携協働できるケース会議の有効 な持ち方をワークショップを通して体験した。

本紙では本多修さん(武庫川女子大学教授)の

基調提案の要旨を掲載する。

基準も多様化するというこ とである。子どもにとって、

うことは、善し悪しの判断

価値観が多様化すると

子どもを理解し、子どもの権利を守るために、大 頼り 子どもから見て、 9べての人の人権を尊重王的な社会の基本である。 価値観を認めることは、民 **土的な社会の基本である。** 価値観を認めることは、民 ところが一方で、多様な

なことだ。それでは、多さ会をつくるために最も重 重することは、民主的な: えることは、民主的な社表現や信仰の自由を尊 要

保護者同士でも両親の間で準が違う。先生同士でも、の間で、善し悪しの判断基くい。保護者と学校の先生 る。そして、大人がとてもいことかがわからなくな も違っている。こうなると、 なく見えてくるだろ 何が正し

信を持って断言できない、

た」という視点から考えて ぶん多様化してしまっ 、「社会の価値観がず人社会の教育力の弱体 形成者に ことなのだろうか。 ることとは、

人社会の教育力の

値観の多様化で

善悪の基準がわかりにくくなった

よく疑問に思われること

「大人は自分を守ってくれない」

音

読

福崎町福崎小学校

ドリンドック

フィ 二年

くくなると、大人が子ども で持って子どもを叱り、 真信 できることが少なくなる ではいけないで断 なんの理屈もつけないで断 なんの理屈もつけないで断 と、 しくくなると、大人が子ども 学校の先生も、子どもに自も地域の中の大人もそしてている。家庭の中の保護者 くことがとても難しくなっ

で、選択支べり、価値観が多様化すること 子どもを大人社会の立派な 選択肢が増え、 観を認めることと なるように教育す 両立しにくい 、人々の

的な基準がとても分かりに正しくて何が悪いという絶対時らしい。ところが、何が時らしい。ところが、何がはらしい。ところが、何がは、というという絶対がは、これが、何がは、これがは、これがは、これがは、これがは、

うことができる。 れているとは思えないと言

える。そして、仲間を全員私に任せてください」と応 「子ども同士のことです。 れを先生に伝える。 先生が が

動する。親や先生が、本気ゲットにならないように行察して自分がいじめのターる。周囲の仲間の力関係を いから、自分が大人に守らが一致しているわけではない。大人の価値観、考え方 るよりも、自分で自分を守 るほど、大人が力を持ってもである自分を守ってくれ 合ってくれるとは思えなで自分のしんどさに向き ることに必死になって自分を守る方法を身に付 る方が、まだましに思える。 いないように見えるのだ。 自分を守ってくれると思え 生に訴えないのだろうか。 大人に守ってもらおうとす どもにとって、親や先生が それはいじめられている子 めら ないからである。弱い子ど れていることを親や先 なぜ子ども

親に訴えたとする。親がそ 例えば、A君がいじめを

いけ 生に電話で相談すると、先生は、さきほどと同じような対応をされる。そして、光代さんはさらにひどいい光代さんはさらにひどいいまがあってしまう。そして、生は、ついが、 ひどいいじめが書かれていいら、あなたも生きぬいて』 方がないので居場所を探すめはエスカレートする。仕 の大平光代さんの著書『だ を取りとめるが、逆にいじ る。彼女の父親が担任の先 いいじめが書かれてい中学生の時に受けた

いうことが実際に起こって裸々に書かれている。こう 妻になってしまうことが赤り、やがて暴力団の組長の しまうのだ。 ために非行グループに入

ル」をどう教えるか 敬できるのだ。 感じることで、

大人社会の価値判断がきないということになる。 員も保護者も、自分の価値そのように考えると教職 子どもに向き合うことがで ことができない場合には、 観や生き方をしっかり示す員も保護者も、自分の価値

た対決と言えるような向 げさに言うと全人格をかけ 人の生徒に向き合う。 なエネルギー って守ろうとする。 さら、 大 大 ての しか教育の方法がないのの大人が子どもに向き合

個とし

これは本来親がすべきことだろう。わが子に、自分をは真の意味で親の愛情をもは真の意味で親の愛情をもは真の意味で親の愛情をあじることができる。自分が親に守られていることを 合い方である。 、その親を尊

だろうか。価値の多様化がすすんでも、善悪の基準をしまう訳にはいかない。学しまう訳にはいかない。学しまう訳にはいかない。学のがあれば、なぜ法律ができる中で、ぶつかり合わずに暮らすことができるのは一つのアイデアだと思う。法で暮ら中で、ぶつかり合わずに暮らすことができるかできる中で、ぶつかり合わずに暮らすことができるように考え出された知恵である。法律を題材に、みんな 能である。の大切さを教えることは可で決めたルールを守ること

いし、



ワークショップがおこなわれた

## 基調提案の後にはロールプレイ形式の

たけうち先生はとてもきびしいです。

音読は聞いてもらうと、とてもうれしい気もちになります。 いおく先生、いいづか先生にもよくきいてもらいます。

これからもちゃんと音読をがんばっていきます。

(こどもの詩と絵

第33集より)

先生たち、いつも本当にありがとう。

まちがいや△のところがあると、何回もします。

ぼくはいつも学どうで音読のしゅくだいをしています。

と学どうのたけうち先生が言いました。 「△があるよ。フィくん、ちゃんと読んで。」

# 向き合う先生になることだろうか。子どもに本気ででは、学校の先生はどう が、すべての教職員にもと 大人同士が互いを尊重.

彼らは、大人社会の矛盾やばれる主人公が登場する。とはよく「熱血教師」と呼ど校を舞台にしたドラマ 難しい尊敬される大人に、ろうか。親でもなることがめられているのではないだ 理不尽に出会って崩れそう 学校の先生全員がなれるの を回復し、高めることがですれば、大人社会の教育力では私たちはどのように して 人がお互いを尊敬し、尊重とをめざすのではなく、大 りが「熱血教師」になるこきるのだろうか。一人ひと 大人同士が尊敬できて いる姿を子どもに見せ

ものしんどさ、辛さにしっ

かりと向き合ってくれる。

分の考えを言

いつつ、子ど

だろうか。

「こう思う」とはっきり自

かわかりにくくても、親は何が正しくて良いことなの

向き合ってくれる大人だろ

「値観が多様化して、

子どもの自分に本気で

ういう大人だろうか。それ

偉いと思われる大人とはど

子どもから尊敬される、

ことだと思う。

「社会のルー

いているかということに思で、子どもはどれほど傷つを子どもの前で言うことを言い、母親が父親の悪口 どもは、 人も、 いをむ 人は偉いように見えるの むける必要がある。子いるかということに思 悪口を言った大人の が家庭で先生の悪口 悪口を言われた大

子校からつくるしあう社会を 口を言わないで、相手を尊触れる大人同士の間では悪してやめる。子どもが直接 する。それが大人社会の教 どもの前で言うことを意識 育力を高める第一歩だろ てしまうのである。 先生同士が、先生が保護 大人が大人の悪口を子 保護者が先生を尊敬

信頼さえしなくなっ うことを学び、 とするだろう。互いの意見模倣して互いを尊重しよう とができる。 りと自分の意見が言えるのをしっかり聞いて、しっか は、互いを尊重しようとい 子ども自身も大人を

だと信じ、 尊重して、 こと。それこそが大人社会 大人社会の教育力を高め 大人たちから実行できれば ちに接している学校現場の の教育力を復活させる方策 う気持ちがあるからだとい 実際に子どもた スクラムを組む 模倣するこ

せる。このことをしっかり 重する言葉を子どもに聞か

クラムを組んで協働し、教 意識すると、大人同士がス

スクラムを組んでいる大人 育に当たることができる。

子どもの目から見ると

と大いに期待している。

ご清聴ありがとうござい

てくれる存在に見える。 頼もしく、自分たちを守

新温泉町温泉小学校

「くじゃくとあそんだよ」 一年 阪本 日和 (こどもの詩と絵 第33集より)